

桜溪

芳井中
令和7年度
学校だより
第2号



- ① 新幹線車内
- ②③ トヨタ産業技術記念館
- ④ 名古屋科学館
- ⑤ 旅館おとほ(夕食)
- ⑥⑦ 日間賀島干物づくり体験
- ⑧ 南知多ビーチランド
- ⑨ 熱田神宮
- ⑩⑪⑫ ナガシマスパーランド

本校では、日本三大都市である中京エリアを訪問し、先端技術を活かしたモノづくり産業に触れることで、自己の生き方や将来の進路選択を考えるきっかけとしています。

そこでの様々な体験や見聞を通して、自国の伝統や文化に触れ、国や郷土を愛する心と態度を育てることや、集団での活動や公共での活動を通して、社会生活のマナーを身につけることを修学旅行の目的としています。天候が心配されましたが、何とか行程を終えることができました。

生徒にとって、また一つ級友との楽しい思い出ができました。

修学旅行 (3年生)

catch up 4 ▶ 5月

- ・ 4/23 (水) 郷土体験学習 (1年生)
- ・ 5/8 (木) ~ 10 (土) 修学旅行 (3年生)
- ・ 5/13 (火) 広島研修 (2年生)
- ・ 5/16 (木) 学校運営協議会
今年度一回目の学校運営協議会で、学校経営計画書の承認などを行いました。本年度の活動が本格的に始まります。
- ・ 5/21 (水) 市・県教委学校訪問
今年度から研究テーマを、「生徒に学びを委ねる授業づくり」としました。対話的な学びを基盤として、今後の人生に役立つ学び方も学ぶ授業づくりを目指します。



ダブルダッチ 重曹アート

・ 5/14 (水)・21 (水) よしいクラブ



令和7年度生徒会スローガン

『輪～1つの輪になりみんなで成長～』
ランチルームで、生徒総会を実施しました。
議案検討・学校生活(名札の位置、男子更衣室)について議論しました。

【お知らせ】

- 「部活動地域移行・地域展開に向けての広報チラシ」配布(別紙): 井原市では令和9年夏から原則として休日の学校部活動を中止する。
- 井原鉄道から、過日発生した線路への置き石事件について、ご家庭でも危険性についてお話しいただくよう依頼がありました。

広島研修 (2年生)

生徒たちはこれまでの事前学習を通して、戦争の悲惨さや命の尊さを学んできました。そして当日は、平和記念資料館の見学を通して戦争の悲惨さを実感しました。平和集会では、「一人ひとり行動すること」を宣言することと、「世界から争いがなくなり平和であること」を祈りました。

午後の班別研修では、班の一員としての責任感、他者との協調性を養うことを目的として、班ごとに碑めぐりをしました。その際には、外国人旅行者に英語でコミュニケーションする活動も行いました。積極的に英語を話す姿が見られました。

郷土体験学習 (1年生)

「桜溪講話・現地研修」を通して、ふるさとの偉人について学ぶことで、地域への理解を深めること、また、「野外炊事」では、仲間と協力する大切さや、知恵を出し合う経験を積むことを目的に実施しました。

この行事では、集団づくり、集団行動訓練の目的とともに、年度当初から地域学習を行うことで、今後の総合学習の中で地域学習を円滑に進めることができます。

当日は、天候の関係で、校内で講話を実施しました。桜溪塾の歴史や阪谷朗盧先生の業績などについて、興譲館高校の出宮教頭にご講話していただきました。午後は、経ヶ丸グリーンパークで野外炊事を行いました。



芳井中学校
ホームページ

【生徒・保護者向け相談窓口】
○芳井中学校コンプライアンス推進委員(教頭) ☎72-0059
※どの教職員でも対応いたしますので、安心してご連絡ください。
○井原市教育委員会学校教育課 ☎62-9532
○井原市教育相談室 ☎62-8090

中学校の部活動が変わります!

井原市教育委員会

近年、井原市では急速に少子化が進行しています。そのため、市内の各中学校では選択できる部活動は激減し、「やってみたい活動がない。」と言った声もよく聞かれます。このように、今まで中学生の文化スポーツ活動を支えてきた部活動は、持続することが困難になっています。

そこで、井原市では地域クラブネットワークを創設し、中学生の多様化するニーズに応えていきます。



自分で
選ぶ
決める
を
大切に!!

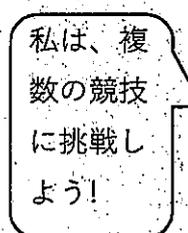
「楽しくやりたい」「上手になりたい」「いろいろな競技をやりたい」中学生のニーズは様々です。貴重な中学時代、有効に使ってください。そのためには、「自分がやりたいこと」を考え、自分で選び、決めることです。地域クラブネットワークの各クラブは、様々なコンセプトをもって活動しています。自分に合う活動を見つけ、楽しい中学生生活を送ってください。

井原地域クラブネットワーク(方向性の異なるクラブがあります)

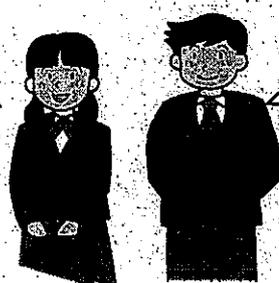
- ・井原地域クラブ → 「もっと上手になりたい」「大会等で好成績を修めたい」人向き(アスリート系) バレーボール、野球、バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトボール、陸上、新体操、剣道、柔道、空手 11競技14団体が井原市教育委員会に登録
- ・いばら生き生きクラブ → 「楽しく活動したい」「いろいろな競技をやりたい」人向き(エンジョイ系) 陸上、バレーボール、バドミントン、テニス、弓道、吹奏楽 等 週1~月1回程度活動



私は、今までどおり学校の部活動でがんばります!



私は、複数の競技に挑戦しよう!



僕は、地域クラブで全国大会を目指します!

部活動の地域移行が進むとどうなるの?

メリット

- ・生徒の活動の選択肢が増えます。
※今まで学校にない種目も選べます。
- ・より専門的な指導を受けることが可能です。
- ・多世代交流等、学校以外での交流が生まれます。
- ・先生の長時間勤務が緩和され、学校教育の質の向上につながります。

課題

- ・地域での指導者や新たな活動場所の確保が必要となります。
- ・大会によっては、出場制限がある場合があります。
- ・活動場所への移動方法や活動費用等の保護者負担が発生する場合があります。

井原市では、令和9年の夏から休日の学校部活動は原則なくなります。

問い合わせ先

井原市委員会文化スポーツ課

0866-62-9533